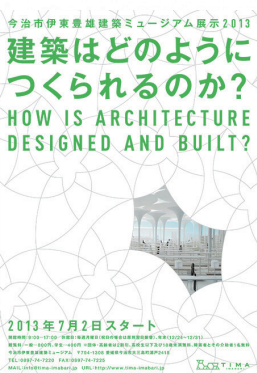
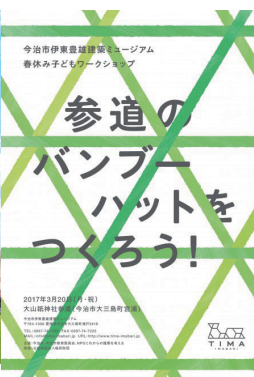


ITO JUKU

伊東建築塾

NPOこれからの建築を考える

2021年度ご案内



2021年度に向けて

伊東建築塾も2011年にスタートしてから10周年となりました。この間温かく支えてくださった方に厚く御礼申し上げます。

しかし昨年以来、コロナウイルスの蔓延によって塾に集まることの出来ないケースも多くなってきました。私達は毎年3つの講座を開いてきましたが、コロナの影響も鑑み、塾生講座は一旦休講とすることにしました。

一方このような時期にも拘らず、応募が年毎に増加する子ども建築塾は募集する子どもの数を倍増することにしました。

また公開講座は「建築って何だろう」「都市って何だろう」など「何だろう」シリーズを開催しようと思います。著名な講師をお招きして物事の本質を子どもでも理解できるようにわかりやすく話していただくという主旨です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

2021年3月

NPOこれからの建築を考える

理事長 伊東 豊雄



伊東豊雄

1941年生まれ。建築家。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」(台湾)など。日本建築学会賞、ヴェネツィア・ビエンナーレ金獅子賞、プリツカー建築賞など受賞多数。

2011年に私塾「伊東建築塾」を設立。これからのまちや建築を考える建築教育の場として様々な活動を行っている。また、自身のミュージアムが建つ愛媛県今治市大三島においては、塾生有志や地域の人々とともに継続的なまちづくりの活動に取り組んでいる。

「NPOこれからの建築を考える」は、東京の伊東建築塾と、瀬戸内海の大三島にある今治市伊東豊雄建築ミュージアムを結ぶ新しい建築教育の場です。この二つの機関を運営するために2011年にNPO法人を立ち上げました。これからの時代や社会に要請される、優れた人々を育成することを目的とし、人や自然との関係を包括的に捉え直す思想に基づいた建築教育を行っていきたいと考えています。

組織

理事長：伊東豊雄

副理事長：太田浩史

理事：所 洋介、長谷川浩司、村松 伸、
矢内原充志、橋田光靖、尾越 優、
藤原史宣、泉 洋子、東 建男、
岡野道子、古川きくみ

監事：古林豊彦

会員数（2021年2月1日現在）

正会員：個人 141 名、団体 19 社 計 160 名

賛助会員：個人 1 名、団体 13 社 計 14 名

活動内容

A 伊東建築塾事業

①会員公開講座（年間6回開催）

さまざまな分野で活躍する講師を招くレクチャーシリーズ。

②子ども建築塾（前期・後期2期制、年間20回開催）

年間を通じて建築の基礎を学ぶ子ども向けの建築スクール。

B 今治市伊東豊雄建築ミュージアム企画運営事業

展覧会企画

講演会・セミナー・コンサート・ワークショップ企画

運営サポート

活動場所

〒150-0013

東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

アクセス：恵比寿駅より徒歩約13分

※駐車場はございません。

お車でお越しの方は、お近くの

コインパーキングをご利用ください。



伊東建築塾 恵比寿スタジオ ©Kai Nakamura



子ども建築塾の様子



今治市伊東豊雄建築ミュージアム

NPOこれからの建築を考える 会員募集のご案内

会員種別・会費

会員種別	入会金	納入額
正会員（個人・団体）	0円	10,000円（年会費7,000円、寄付金3,000円） ※10,000円を超える金額をお支払いいただいた場合は 寄付金とさせていただきます。
賛助会員（個人・団体）	0円	年会費300,000円／口（1口以上）

- ・正会員は当法人の目的に賛同し、活動を推進する個人および団体の方です。
- ・賛助会員は当法人の目的に賛同し、活動を援助する個人および団体の方です。

会員期間

新規（1年目）の場合、入会日より1年間（入会月の翌年同月末日まで）有効。

継続（2年目以降）の場合、更新月の翌年同月末日まで有効。

会員特典

正会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回1名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

賛助会員（個人・団体）

- ・会員公開講座の受講料が無料となります。（各回2名まで）
ただし、各回事前のお申し込みが必要です。お申込み多数の場合、先着順とさせていただきます。
- ・当法人のウェブサイト、会員様の法人名およびウェブサイトのリンクを掲載させていただきます。
- ・会報「Ito Juku Letter」と各種広報物をお送りします。

入会・継続お申し込みと会費納入方法

- ・当法人のウェブサイトの入会お申し込みフォームに必要事項をご記入のうえ、送信下さい。
<http://itojuku.or.jp/course/a/form/>
- ・下記の銀行口座までお振込みにてお支払い下さい。

みずほ銀行 青山支店 普通 2041381

特定非営利活動法人これからの建築を考える トクヒ)コレカラノケンチュウオカンガエル

- ※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。
- ※ お申し込みフォームの受理とご入金確認をもって、入会・継続手続きが完了いたします。

会員公開講座

「～って何だろう？」

ー 建築関係者に限らず、広く一般の方を対象として「これからの建築」のあり方を考えます。

本年度の公開講座は、すべて「何だろう」シリーズを展開しようと考えています。

今日私達はスマートフォン等の利用によって情報や知識が容易に手に入るようになった反面、物事について考えなくなっていました。「何故？」と問いかけることがなくなってしまったのです。

そこで本講座では著名な講師に御登場頂き、各専門分野の本質を子ども(小学生高学年程度)でも理解できるような平明さで語っていただこうとするものです。

講師陣とテーマは以下のような方々を予定しています。是非親子でも御参加ください。



講座風景

各回テーマ・講師（開催順不同） ※テーマは変更となる可能性があります。

①「建築」って何だろう

伊東豊雄（建築家）

②「都市」って何だろう

陣内秀信（法政大学特任教授）

③「生命」って何だろう

福岡伸一（生物学者）

④「音楽」って何だろう

浦久俊彦（文筆家、文化芸術プロデューサー）

⑤「デザイン」って何だろう

佐藤卓（グラフィックデザイナー）

⑥「演劇」って何だろう

串田和美（芸術監督）



講座風景

開催日数

年間 全6回（土曜午後もしくは夜、1回あたり2～3時間を原則としています。）

※コロナウイルスの影響や都合によって変更の可能性がございます。

会場

伊東建築塾 恵比寿スタジオ

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3丁目32-12

受講対象

正会員、賛助会員、塾生

定員

60名

受講料

無料

申込方法

開催日の1ヶ月前までにご案内のメールを配信しますので、指定の方法にてお申込みください。

過去の講座のレポートは伊東建築塾のブログから
ご覧いただけます。
<http://itojuku.or.jp/blog/>





子ども
建築塾
Architecture School
for Children

子ども建築塾

「いえとまちって何だろう？」

— 子どもたちの建築やまちに対する意識を高め、思考や表現の個性をのびします。

小学校高学年の児童を対象に、一年を通して建築やまち、環境について考えます。

前期は「いえ」をテーマに、住宅のスケールや模型のつくり方、発表の仕方などを学びながら、想像力あふれる「いえ」を設計します。後期は「まち」をテーマに、まちの成り立ちや公共空間、ランドスケープについて考えます。

テーマ

前期課題(4～9月) 『水に浮かぶいえ』

後期課題(10～3月) 『100人島をつくろう!』

講師

伊東豊雄
(建築家)



1941年生まれ。1965年東京大学工学部建築学科卒業。主な作品に「せんだいメディアテーク」「多摩美術大学図書館(八王子キャンパス)」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」「台中国家歌劇院」など。

アストリッド・クライン
(建築家)



クライン ダイサム アーキテツク代表。共にRCAを修了したマーク・ダイサムと1991年に設立。主な作品に「代官山 T-SITE」、「GOOGLE TOKYO OFFICE」、「SHISEIDO THE GINZA」など。
www.klein-dytham.com

太田浩史
(建築家)



1968年東京生まれ。1993年東京大学大学院建築学専攻修士課程修了。ヌーヴ代表。東京ピクニッククラブ共同主宰。博士(工学)。主な作品に「Populous SCAPE」、「久が原のゲストハウス」、「矢吹町第一区自治会館」など。

柴田淑子
(建築家)



東京都生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。1999年より建築設計事務所エアーを共同主宰。子ども・教育に関する施設や寺院、住宅などの設計に携わる。主な作品に「真理学園幼稚園」、「神田寺別院」など。

式地香織
(建築家)



日本女子大学大学院修士課程、伊東豊雄建築設計事務所を経て、フリーランス。大学におけるデザイン教育の経験と建築家としての職能を活かして、子どもたちの生きる力や場を育むべく、コドモチヨウナイカイ事務局を設立。

※ 建築設計にたずさわる建築家や、建築やデザインを学ぶ大学生・大学院生がTA(ティーチング・アシスタント)として参加します。
塾生一人ひとりの特性や理解の度合いを把握し、学習や制作をきめ細かくサポートします。



【TA(ティーチング・アシスタント)募集】

講師の建築家から直接レクチャーを受けたり、建築家が設計した建物を見学したり、子どもたちと一緒に建築を学べるだけでなく、大学や職場を超えた建築仲間ができるチャンスです!詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

交通費支給:各回500円 特典:公開講座の無料聴講

／ 新 ク ラ ス 増 設 ／

土曜クラス①

時間:隔週土曜日 10:30～12:00

土曜クラス②

時間:隔週土曜日 13:00～14:30

土曜クラス③

時間:隔週土曜日 15:30～17:00

水曜クラス

時間:隔週水曜日 16:30～18:00

各クラス、講師1名とTA数名が担当します。お申し込みの際に、ご希望の日時のクラスをお選びください。

なお、授業回数、授業内容、受講料等すべて同じとなっています。

※発表会の日程は、水曜クラスの場合でも土曜の開催となる場合がございます。



授業風景



授業風景



中間発表



いえ課題の作品



まち課題の作品



公開発表会

回数

全20回、2期制(前期10回 / 後期10回)

※コロナウイルスの影響や授業内容により、曜日・時間を変更する場合がございます。

受講対象

小学校高学年(4年～6年)の児童

定員

36名

※定員を超えるご応募があった場合は、模擬授業による選考を行わせていただきます。

※模擬授業では、約1時間の間、出題されたテーマの「いえ」のスケッチを描きながら、講師が個別に対話を行います。

受講料

年間152,000円(月額11,000円×12ヶ月 + 模型材料費20,000円 / 年)

※教材費を含みます。通塾にかかる交通費は、別途ご負担ください。

※前期分として4月末までに76,000円、後期分として9月末までに76,000円ずつ納入していただきます。

申込方法

ウェブサイトからお申し込みください。<http://itojuku.or.jp/course/children/form/>



今治市伊東豊雄建築ミュージアムは、瀬戸内の美しい多島海の中央に位置する大三島に2011年に開館しました。主に展示に使用される「スチールハット」と、アーカイヴの保存およびワークショップの場となる「シルバーハット」があり、伊東建築塾が取り組む大三島のまちづくりの活動を紹介する他、これからのまちや建築について考えるレクチャーや子どもを対象としたワークショップなど、さまざまな活動を行っています。



スチールハット ©Daici Ano



シルバーハット ©Daici Ano

2020年度のイベント



展示風景 ©Katsuhiro Aoki

今治市伊東豊雄建築ミュージアム2020年度展覧会 公共建築はみんなの家である

会期：2020年9月19日～2021年6月13日

伊東豊雄建築設計事務所が手掛けた4つの公共建築「せんだいメディアテーク」「まつもと市民芸術館」「座・高円寺」「みんなの森 ぎふメディアコスモス」がどのように利用されているのかを館長、芸術監督や利用者へのインタビュー、アンケートを通じて浮かび上がらせ、今日の公共建築の意義とこれからのあるべき姿を考えることを試みております。

篠笛コンサート「島風2020」

日時：2020年10月25日

出演：佐藤和哉

篠笛奏者の佐藤和哉さんを一昨年に続いてお招きし、篠笛コンサート「島風2020」を行いました。岩田健母と子のミュージアムにて、秋の大三島を感じながらの心休まる演奏と伊東とのアフタートークをお楽しみいただきました。



開催風景 ©Kaako Yoshino